

第69回水産庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:令和7年10月29日)

開催日及び場所			令和7年9月29日(月) 水産庁外国人応接室		
委員			戸塚 輝夫(公認会計士)(委員長) 井上 裕明(弁護士) 久賀 みず保(鹿児島大学准教授)		
審議対象期間			令和7年4月1日～令和7年6月30日		
審議対象案件			182件		

	意見・質問	回答等
	1. 令和7年度新ロードマップに基づく資源管理等高度化促進事業のうち国際資源の管理体制構築促進事業のうち操業管理・海外漁場情報活用事業(令和7年度かつお・まぐろ・遠底VMSシステムに係る運用保守)業務 一者応札アンケート調査の回答として、開札日からその履行開始までの業務実施における準備期間が短かったため応札できなかったという意見があったが、その準備期間を少し延ばすということは今後の改善策としてあり得るのか。	限られたスケジュールの中ではあるが、公示期間等を最大限に確保するといった改善等図ることを考えているので、業者の履行の準備期間もうまく確保できるように努めていきたい。
	2. 令和7年度水産基盤整備調査事業「新たな海洋開発がその近傍の漁場施設に与える長期的な影響に関する検討調査」 令和5年度及び令和6年度は二者の応札があったが、令和7年度は一者応札であった。何か思い当たること又はアンケート、ヒアリング等で何か確認できたことはあるか。 本事業は令和8年度以降に、また新たな3年間で事業を実施することを想定しているのか。	アンケート調査の結果では、専門的な知識が必要であるとか、社内の体制の問題といった回答が多いが、事業担当としては、本事業は3年計画であり、3年間で全体像や調査全体を考えているため、やはり初年度は色々な社が手を挙げ易かったという事情はあると思う。2年目も手を挙げた社が2者いたが、やはり3年目になると初年度、2年目の結果を踏まえて調査結果をまとめていく必要があるため、これまで事業を継続してきた社の方が手を挙げ易かったと推察している。 引き続き事業期間を3年とするか否かというのは要検討であるものの、新たな課題等があれば、考えていくということになると思う。
	3. 令和7年度水産基盤整備調査事業「漁港漁場施設の設計手法の高度化検討調査」 本事業の契約相手は共同研究機関ということだが、共同で事業を実施をする各機関の構成はどうなっているのか、各機関の構成が年度によって変わる理由はどのようなものなのか。 本事業は、複数のそれぞれ専門的な分野を持った組織が力を合わせないと実施できないような、かなり高度、複雑な内容を事業として委託しているものか。	令和5年度及び令和6年度については構成は同じ。7年度だけ異なっている。構成が異なる理由は、あくまでも事業のテーマ自体は継続だが、契約自体は単年度であるため、その都度、年度ごとの事業内容に応じて必要な社、適した社で共同研究機関を構成しているもの。 調査対象となる施設の耐震などは、もともと専門的かつ高度な検討が必要であるということに加え、今回は、令和6年1月の能登半島地震で発生した津波の被害や漁港施設の地盤隆起など、今まで想定していなかった被害も生じたため、現地でどういった被害があったのか、どのような場所でどのような被害がひどい状況だったのか、などを一からしっかりと調べた上で、今後の施設設計に生かしていくということを目的とした調査を委託するものである。このため、より専門的な知見を持った複数者が共同研究機関を構成して、より高度な検討をしてもらうということになっている。

4. 令和7年度国際漁業振興協力事業のうち水産開発調査事業 本事業は、アジア、アフリカ及び太平洋島嶼国等という幅広い地域を対象にしていることが、入札を尻込みをさせる理由になっているという説明があった。そうすると、本事業として、アジア、アフリカ及び太平洋島嶼国等というエリアをそれぞれ分けて発注するということは、必ずしも現実的ではないのか。 開発途上国の水産開発の案件形成の調査を実施するということであれば、都内を中心にたくさん存在している開発関係の事業者が手を挙げそうであるが、そのような中で（一社）マリノフォーラム21が手を挙げる優位性というものは何なのか。	エリア分けして発注するというのも一つの手ではあるかもしれないが、そうするとあたかも事業がたくさんあるように見えてしまい、それぞれで実施したいことができない予算額になり、最終的に調査したい内容が調査できなくなってしまう恐れがある。そういったことを避けるために幅広い地域を一括で事業として組んで発注をかける必要がある。 やはりある程度契約金額が大きくなる事業でなければ手が挙がりにくい。 一方で、一般社団法人であるマリノフォーラム21であれば、比較的営利目的は有しておらず、客観的であり、実施したい案件に開発途上国を無理に誘導することもなく公平性が担保できる。
5. 令和7年度新ロードマップに基づく資源管理等高度化促進事業のうち国際資源の管理体制構築促進事業のうち科学オブザーバー調査分析事業 本事業は適切な能力、専門性を持った者を漁船にオブザーバーとして乗船させる事業だと理解しているが、具体的にどのような専門的な知識が必要なのか。例えば、語学力、漁業の知識などか。 オブザーバーの役割は。	操業に関する国際規程への理解、漁獲物・混獲生物のデータ収集能力などである。 地域漁業管理機関において、操業のうち一定割合は科学オブザーバーを乗船させることになっており、漁船に乗船して第三者として科学データの収集を行っている。
6. 令和7年度豊かな漁場環境推進事業のうち国際的な海洋生態系保全対応のための持続的利用確保調査 1者応札アンケート調査結果によると、作業スケジュールが不明確で分かりにくかった、ということがあったようだが、具体的にどのようなものか。 落札率が●%（非常に高い）であるが、何か原因は考えられるか。 （「●」は非公表）	業務内容として、国際的議論の情報収集があり、会議への出席が必要となるが、今回の指摘は、恐らくこの国際的な会議のスケジュールがなかなか分からない状態では応札できないということだと考えている。具体的な国際会議のスケジュールを今後は仕様書に書こうと思っている。 本事業の予算額として外に話しをすることもあるし、何よりも実際の落札額は行政事業レビューシートで公表されている。このような中でも、予定価格を予算額の範囲内で下げることも当然検討し、更に競争性を高める必要もあるが、業務内容と比較して金額が小さいため、なるべく予定価格を高めに設定し、なるべく業者に入札してもらいたいと考えている。それがこの●%（非常に高い）という結果になったと考えている。 （「●」は非公表）

7. 令和7年度海業立ち上げ体制構築事業 本事業は、単年度事業なのか。それとも継続していく予定なのか。 マッチングシステムについてだが、具体的には、ウェブ上で何かしらのシステムを構築するというのが本事業の大きな内容になるのか。 また、そのような内容の事業に対して、ランドブレイン株式会社が適正であるという判断はどのようにされたのか。 もし次年度以降も継続となり、2年度目であれば、複数の応札が可能な事業内容かもしれないので、それに向けて改善をお願いしたい。 事業のイメージの確認だが、漁港管理者、漁業協同組合、漁業者、それから民間事業者の連携で漁業を盛り上げていくということかと思うが、民間事業者の役割は何なのか。	今年度の本事業により、マッチングシステムの構築のみを行い、それだけで手放すということは避けたいので継続し、何かしらのシステム改修等を行いたいと担当としては考えている。ただ、あくまでも予算事業であるため、明言はできない。 マッチングシステムについては、インターネット上で、各漁港管理者が海業に取り組んでもらいたい施設を公開したり、また、海業に参入できる民間企業などの取組や協力できる内容などを記載するポータルサイトを開設するもの。また、ランドブレイン株式会社については、漁村の活性化に向けた調査事業などをよく行っており、類似の業務経験から適正と判断した。 承知した。 例えば、漁業協同組合で食堂を経営したくなった場合、経営のノウハウなどは漁業協同組合にも、漁港管理者にもないため、経営のノウハウなどを民間事業者に教えてもらうといったことが考えられる。
8. 令和7年度漁業取締飛行業務(タービン双発機) 中日本航空(株)と長らく契約し、説明を聞くところある種やむを得ない状況だということは理解もできる。一方で、中日本航空(株)に依存している中で、中日本航空(株)が契約できませんと言ってきたら、事業の遂行に支障が出ないのか。他とも契約できるような体制、それはひいては競争性ということにもつながると思うが、心配は要らないのか。 中日本航空(株)にとって本事業への依存度は決して高くないのか。	委員と同じ認識を持っている。中日本航空(株)と本当に何かの事情で契約できなくなった時に困らないように、民間の同業他社の方から本事業に関する問合せがあった場合には、丁寧に対応し、例えば、特殊装備とは何なのか、仕様書の内容を少し補足して説明するなど、そういった形で検討を促している。 日頃のやり取りの中で承知している分には、最近臓器搬送、急に臓器ドナーが出てきて、即航空機を飛ばさないといけないなどの緊急対応や、富裕層の方の移動など、なるべく経営の多角化を図ろうとするトレンドがあるようである。その多角化の一つとして恐らく本事業があると考えている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 〔これらに対し部局長が講じた措置〕	特になし
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班	